

令和7年度勤務医会員数・勤務医部会設立状況等調査

－自由記載一覧－

勤務医部会の事業計画等（令和7年11月1日現在）

医師会	事業計画等
1 北海道	①令和7年度北海道医師会勤務医部会全体会議（12/14 予定） ②勤務医部会運営委員会（6/9、10/19、R8.2/23 予定）
2 青森県	①勤務医とかかりつけ医・開業医とのスムーズな病診連携、及び医療と介護との連携のために医療学術情報の提供を行う。このために定期的な講演会・講習会の開催、ならびに医療諸問題に対する意見交換の場を提供し、かかりつけ医・開業医とのお互いの「顔の見える」場の設定を図る。 ②良質な医療を提供するためには、勤務医の勤務環境の改善が必須である。昨今、「医師の働き方改革」の骨子が示されたが、まだ積み残された課題は多く、地域医療の現場からの意見を反映させ、より良いものとしなければならない。医師の労働環境改善は喫緊の課題であり、引き続き現場医師の声を集約し、毎年行われる全国医師会勤務医部会で採択される宣言にもとづき、日本医師会や厚生労働省など関係部署へ要望していく。 ③勤務医、特に初期研修医に対して定期的に医師会活動の現状を報告する場を設定する。大学医学部卒業後5年間は、日医・県医・郡市医師会費は無料のため、より一層対象者の入会を促進していく。また、勤務医全体に対して医療行政に大きく関わる医師会活動の重要性を周知させ、医師会の認知度を向上させる。この面では先進的な取り組みで成果を挙げつつある他都道府県医師会の勤務医部会の取り組みを参考とし、若手勤務医の医師会活動へのよりいっそうの参加を促進させる。 ④増加する女性医師の職場環境作りに向けて、男女共同参画推進事業とのなお一層の連携を図る。
3 岩手県	①勤務医の労働衛生環境の向上 ②臨床研修医、専攻医育成の支援 ③医師の働き方改革の推進 ④勤務医の医師会加入勧奨による医政への参加促進 ⑤令和7年度全国医師会勤務医部会連絡協議会の開催
4 宮城県	・設立の予定なし
5 秋田県	・会員の確保・増員を図る ・勤務医アンケート調査を行う ・医師の働き方改革を推進する ・イクボスを推進する ・専門医の育成に努める ・勤務医の福利厚生を考える

		<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全を推進する ・部会員相互の親睦を図る ・勤務医として地域医療に貢献する ・医療 DX を推進する ・地域医療構想を推進する
6	山形県	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回山形県研修医歓迎レセプション ・臨床研修医症例報告会 ・医学生を対象とした加入促進（医学生会員制度、医学科4年生への講義） ・若手医師によるディスカッション ・病院訪問による入会促進（MAMISによる入会手続きの操作説明） ・女性医師と医学生の意見交換会 ・若手医師の研修会参加
7	福島県	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度より設立予定
8	茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・設立不要（令和2年度より勤務医部会から勤務医委員会に変更）
9	栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務医部会理事会、勤務医部会総会、研修会
10	群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ・設立の予定なし
11	埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会、総会の開催 ・講演会等の開催 ・埼玉県医学会総会への参加 ・埼玉県医師会誌「勤務医コーナー」への寄稿 ・都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への参加 ・全国医師会勤務医部会連絡協議会への参加 ・埼玉県総合医局機構 臨床病院セミナーへの協力
12	千葉県	<ul style="list-style-type: none"> ・設立の予定なし
13	東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・設立の予定なし
14	神奈川県	<ol style="list-style-type: none"> ①勤務医の地域医療活動の推進 ②勤務医の研修の推進 ③各勤務医部会との連携 ④勤務医部会報の編集と発行 ⑤医師の働き方改革への対応 ⑥女性医師支援対策の推進 ⑦その他女性医師支援に関する啓発及び情報共有等 ⑧男女共同参画の推進 ⑨医学生・若手医師のため特設サイト運営
15	新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ・設立の予定なし
16	富山県	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務医部会：11/14開催予定 部会員より、若手医師の医師会活動の参画・医師会への入会促進策、勤務医と開業医の協働についてご意見を伺う予定。

		・富山県医療勤務環境改善支援センターと共催で講演会を開催
17	石川県	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務医活動推進委員会並びに女性医師支援委員会の開催（8月27日） ・勤務医フォーラムの開催（12月2日） ・勤務医部総会、病診連携の集いの開催（2月7日） ・いしかわ研修医合同オリエンテーションの開催（4月3日） ・臨床研修医支援ワーキンググループの開催（6月23日） ・石川県研修医学会、親睦会の開催（1月31日）
18	福井県	・設立の予定なし
19	山梨県	<p>①山梨県下全病院の充実・発展への努力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画への支援 ・各種イベントの企画・実施・支援・共催 <p>②病院、勤務医に関する各種情報の収集及び情報の提供・公開</p> <p>③勤務医の医師会加入への働きかけ</p> <p>④全国医師会勤務医部会連絡協議会及び都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への参加</p> <p>⑤救急医療体制の整備と働き方改革への対応</p>
20	長野県	・設立の予定なし
21	岐阜県	<p>(1) 岐阜県医師会勤務医部会研修総会（8月30日）</p> <p>(2) 学術研修会（年2回開催）</p> <p>①第44回岐阜県医師会勤務医部会学術研修会（8月30日）</p> <p>特別講演</p> <p style="padding-left: 40px;">「患者安全に関する最近の話題 高齢化・患者対応から医療事故調査制度まで」</p> <p>講師：岐阜大学医学部附属病院副病院長・医療安全管理室室長 熊田恵介</p> <p>②第45回岐阜県医師会勤務医部会学術研修会（令和8年3月5日）</p> <p>※男女共同参画講演会との共催</p> <p>特別講演</p> <p style="padding-left: 40px;">「演題未定」</p> <p>講師：岐阜大学医学部附属地域医療医学センター長 教授 牛越博昭</p> <p>(3) 各種委員会</p> <p>①運営委員会、②常任運営委員会、③総務委員会、④学術委員会、⑤学術選考委員会、⑥IT委員会、⑦男女共同参画委員会、⑧新入研修医ウェルカムパーティー（RWP）企画委員会</p> <p>(4) 岐阜県新入研修医ウェルカムパーティー（4月4日）</p> <p>(5) 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会（5月23日）</p> <p>(6) 全国医師会勤務医部会連絡協議会（11月8日）</p> <p>(7) 医学医術の研鑽、医道の推進、勤務環境の向上のための調査・研究助</p>

	成	
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年12月まで申請を募集 ・令和8年1月～3月中に採択者を決定 	
22	静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・設立が不要（平成17年度までは部会を設置していたが、平成18年度以降は関係する会内委員会に対応することとしたため。（現在「勤務医委員会」の下に、「若手医師支援ワーキンググループ」と「ワークライフバランスワーキンググループ」を設置し、勤務医に関する諸課題について検討している。）
23	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事会の開催（年6回）
24	三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・設立の予定なし
25	滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・設立の予定なし
26	京都府	<ul style="list-style-type: none"> (1) 勤務医部会総会の開催 (2) 幹事会、正副幹事長会の開催 （主な協議テーマ：①医師偏在対策、②医師の働き方改革、③医師会の組織強化） (3) 勤務医問題の検討 (4) 日医・府医への入会促進、KMA.comへの登録促進 (5) 対外活動
27	大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会（年22回） ・U40 OSAKA 勤務医部会（年6回） ・ブロック合同懇談会（年3回） ・勤務医部会研修会（年2回） ・新研修医ウェルカムパーティ（4月） ・定例委員総会（7月） ・勤務医・研修医・医学生交流会（8月） ・大阪府医師会役員と勤務医部会役員との懇談会（9月） ・在阪5大学医師会役員・2行政医師会役員と勤務医部会役員との懇談会（11月） ・医学生と語る会（1月）
28	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・設立の予定なし
29	奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ・設立が不要（本会の事業として取り組んでいるため）
30	和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ・設立の予定なし
31	鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・設立の予定なし
32	島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・「勤務医の皆様へー医師会入会のしおりー」等の配布 ・しまね臨床研修医合同研修会の開催（春と冬の2回開催） ・中国四国医師会連合勤務医委員会への参加 ・都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への参加 ・全国医師会勤務医部会連絡協議会への参加

		・初期臨床研修医向け研修会等の企画への助成
33	岡山県	<p>①令和7年4月から臨床研修を開始する研修医を対象に、「WELCOME 研修医の会」を開催し、医師会への入会を促進する。</p> <p>②会費減免対象の医学部卒後5年間の勤務医に対して医師会への入会を促進する。</p> <p>③医学部卒後5年間の勤務医を対象に設置した「岡山県医師会入会サポートデスク」において、引き続き若手医師の医師会入会手続きをサポートする。</p> <p>④岡山県医師会勤務医部会委員会を開催し、勤務医の医師会活動の活性化を図る。</p>
34	広島県	<p>①勤務医部会 勤務医部会委員の執筆により、広島県医師会速報毎月25日号へ「勤務医ニュース」を掲載</p> <p>②勤務医ゴルフ大会の開催（10/19）</p> <p>③日本医師会等対外活動への参加 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会（5/23）（Web） 全国医師会勤務医部会連絡協議会（11/8）（岩手） 令和7年度中国四国医師会連合総会第3分科会 勤務医（9/27）</p>
35	山口県	<p><勤務医対策></p> <p>①勤務医部会総会（シンポジウム）、理事会、企画委員会の開催</p> <p>②郡市医師会勤務医理事との懇談会の開催</p> <p>③郡市医師会勤務医部会の設置促進・活動支援</p> <p>④勤務医への医師会活動の周知及び加入促進</p> <p>⑤病院勤務医懇談会の開催（県内2カ所）</p> <p>⑥市民公開講座等の開催（県内2カ所）</p> <p>⑦医師事務作業補助者に関する講演会の開催（導入促進）</p> <p>⑧医学生への啓発事業（医学生のための短期見学研修事業の実施）</p> <p>⑨全国医師会勤務医部会連絡協議会への参加</p> <p>⑩都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への参加</p> <p>⑪中国四国医師会連合勤務医委員会への参加</p> <p>⑫勤務医ニュースの発行（年2回）</p> <p><臨床研修対策></p> <p>①山口県医師臨床研修推進センター運営会議の開催</p> <p>②臨床研修病院合同説明会（医学生・研修医）への参加</p> <p>③臨床研修医交流会の開催</p> <p>④指導医・後期研修医等国内外研修助成事業の実施</p> <p>⑤国内外からの指導医招へい事業の実施</p> <p>⑥病院現地見学会助成事業の実施</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ⑦臨床研修医歓迎会の開催 ⑧専攻医歓迎会(仮称)の開催 <p><自治医科大学卒業医師対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ①自治医科大学卒業医師との交流会の開催 ②やまぐち地域医療セミナーの参画・支援 ③へき地に勤務する自治医科大学医師の代診を支援する仕組みづくり
36	徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設立が不要（平成 20 年度より部会から勤務医・研修医委員会に変更したため）
37	香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床研修医との意見交換会の開催 ・ 中国四国医師会連合勤務医委員会への参加 ・ 全国医師会勤務医部会連絡協議会への参加
38	愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務医の医師会加入促進に関する施策の検討 ・ 勤務医に対する保健医療の研修への協力 ・ 新任医師への医師会オリエンテーションの実施 ・ 研修医の入会促進や医師会活動への参画促進への協力（日本医師会からのパンフレット配布予定） ・ 勤務医の福祉の増進に関する事項の検討 ・ 医師卒後臨床研修への協力
39	高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設立予定（検討中）
40	福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ①委員会 ②研修会 ③新規臨床研修医への講演 ④「勤務医のつどい」発行（年 2 回） ⑤都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への出席 ⑥九州医師会連合会勤務医連絡協議会の開催（担当県） ⑦全国医師会勤務医部会連絡協議会への出席 ⑧大学医学部講義 ⑨医師会組織強化に向けた取り組み 等
41	佐賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設立の予定はない
42	長崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長崎県医師会勤務医部会役員会を年度内に 1 回開催 ・ 長崎県医師会勤務医部会総会を年度内に 1 回開催 ・ 勤務医向けパンフレットの作成
43	熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本県医師会勤務医部会世話人会（4 月 19 日） ・ 熊本県医師会勤務医部会総会（4 月 19 日） ・ 熊本県医師会勤務医部会役員会を開催予定（令和 8 年 3 月）
44	大分県	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部会組織の充実（①医師会員加入促進、②部会活動の浸透、③医師会活動における勤務医のあり方の検討） 2. 勤務医部会役員会・総会の開催

	<p>3. 勤務医部会主催学術講演会の開催 勤務医相互の連携や福祉増進、また地域医療及び学術研究を含めた医療環境整備のため、その時宜にかなったテーマを取り上げ、講演会を開催。勤務医間の親睦・交流を図る。</p> <p>4. 全国医師会勤務医部会連絡協議会並びに都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への派遣</p>
45	宮崎県 <p>①勤務医部会理事会開催（年2回：7月11日開催、令和8年1月29日開催予定）</p> <p>②勤務医部会総会開催（年1回：8月7日開催）</p> <p>③勤務医部会講演会開催（年2回：8月7日開催、令和8年1月29日開催予定）</p> <p>④全国医師会勤務医部会連絡協議会（岩手県）への参加</p> <p>⑤各郡市医師会等での講演会開催への協力</p>
46	鹿児島県 <p>・設立の予定なし</p>
47	沖縄県 <p>・勤務医部会役員会（年1回） 各地区医師会から選出された委員で構成され、勤務医に係る解決すべき問題等を検討し意見交換を行う。</p> <p>・勤務医部会主催学術講演会（年1回） 勤務医相互の連携や福祉増進、また、地域医療及び学術研究を含めた医療環境整備のため、その時宜にかなったテーマを取り上げ、講演会を開催する。</p> <p>・全国医師会勤務医部会連絡協議会並びに都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への派遣 全国の医師会勤務医部会と連携を図るとともに、勤務医の機能分化、さらには過重労働や女性医師の就労に関する諸問題など多岐にわたる重要課題について検討・意見交換を行う。</p>

勤務医に関する委員会の名称、事業計画等（活動計画・諮問等）

（令和7年11月1日現在）

①委員会の名称、②設置年度、③本年度の事業計画等

	医師会	事業計画等
1	北海道	①若手医師専門委員会 ②平成28年度 ③委員会開催（4/19、6/9、10/19、R8.2/23 予定） ※勤務医部会運営委員会と一部合同開催
2	青森県	・設置なし
3	岩手県	・設置なし
4	宮城県	①宮城県医師会勤務医委員会 ②平成20年度（宮城県医師会勤務医連絡協議会から名称変更） ③委員会を年1～2回開催
5	秋田県	・設置なし
6	山形県	・設置なし
7	福島県	①勤務医対策委員会 ②平成18年度 ③勤務医委員会の開催（年1回）、勤務医フォーラムの開催（年1回）
8	茨城県	①勤務医委員会 ②令和2年度 ③勤務医学術奨励賞の実施、茨城県臨床研修医合同懇話会の実施
9	栃木県	・設置なし
10	群馬県	①勤務医委員会 ②平成11年度 ③年1回委員会を開催
11	埼玉県	・設置なし
12	千葉県	①千葉県医師会勤務医委員会 ②平成24年度 ③委員会・研修会の開催
13	東京都	・医療支援、疾病対策、地域医療、医療保険、医療介護福祉、健康保険、広報・学術、救急・災害、医療情報の部署に分け、各部署において設置している各種委員会では、勤務医と開業医に分けて事業を検討せず、勤務医と開業医の議題を包括して討議し、その結果を地区医師会を通して勤務医にも周知している。
14	神奈川県	・設置なし
15	新潟県	①勤務医委員会 ②昭和59年度

		<p>③ (1) 会議の開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院委員会 2) 勤務医委員会（勤務医小委員会） 3) 病院長会議（特別講演を含む） <p>(2) 勤務医への支援事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「にいがた勤務医ニュース」の発行（年4回） 2) 全国医師会勤務医部会連絡協議会、都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への出席 3) 医療コンフリクト・マネジメントセミナーの開催 <p>(3) 医師のキャリア形成支援—ダイバーシティ推進支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 新潟県女性医師総合支援センターの運営 2) 日本医師会女性医師支援センター事業への協力 3) 日本医師会男女共同参画フォーラムへの出席 <p>(4) 医師の働き方改革の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療勤務環境改善支援センターの運営 研修会、個別支援等により、勤務医の働き方・休み方の改善、働きやすさ確保のための環境改善を支援する。 2) ICT利活用の推進 3) 医師個人の啓発活動
16	富山県	・設置なし
17	石川県	<p>①勤務医活動推進委員会</p> <p>②平成24年度（～平成23年度：会員増強委員会、活動方針検討委員会など名称変更あり）</p> <p>③勤務医フォーラムの開催、勤務医部総会・病診連携の集いの開催</p>
18	福井県	<p>①勤務医委員会</p> <p>②昭和56年度</p> <p>③年度で1～2回開催</p> <p>諮問事項：「勤務医が入会したくなる医師会へ」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.勤務医に対する医師会入会促進事業の企画 2.医師会と大学との協働強化 3.医師の働き方改革を踏まえた労働環境の適正化
19	山梨県	・設置なし
20	長野県	<p>①勤務医委員会</p> <p>②昭和63年度</p> <p>③医師確保対策・勤務医対策の検討（長野県ドクターバンクを含む）への協力 信州大学医学部並びに県健康福祉部との連携 女性医師対策の検討 長野県医学生修学資金貸与者の適正配置の推進</p>

21	岐阜県	<p>①岐阜県医師会勤務医部会の部内委員会として、総務委員会・学術委員会・学術選考委員会・IT委員会・男女共同参画委員会・RWP企画委員会の6つの委員会を設置し、勤務医の諸問題に関して協議している。</p> <p>②平成14年度以降、必要に応じて順次設置（勤務医部会は昭和61年3月に設置）</p> <p>③勤務医の諸問題に関して協議している。</p>
22	静岡県	<p>①勤務医委員会、若手医師支援ワーキンググループ</p> <p>②平成28年度、平成30年度</p> <p>③勤務医委員会1回、若手医師支援ワーキンググループ6回、Welcome Seminar in Shizuoka 3回、屋根瓦塾 in Shizuoka 3回開催</p>
23	愛知県	・設置なし
24	三重県	<p>①勤務医委員会</p> <p>②平成18年度</p> <p>③委員会1回、三重県病院協会との懇談会、研修会等（予定）</p>
25	滋賀県	<p>①勤務医活動検討委員会</p> <p>②令和3年度</p> <p>③病院勤務医連絡協議会（毎年1回開催） 救急時間外患者アンケート（毎年7月に1カ月間実施）</p>
26	京都府	<p>①研修サポート委員会</p> <p>②従来の「臨床研修のあり方に関する検討委員会」を令和元年「研修サポート委員会」に改組</p> <p>③（1）研修サポート委員会の開催 （2）研修医向け（指導医向け）事業の企画・運営 ・新研修医総合オリエンテーション（4月） ・臨床研修屋根瓦塾 KYOTO（夏・冬） ・Re-1 グランプリ（9月） ・指導医のための教育ワークショップ ・情報誌「Arzt」の企画、発刊（年4回） ・KMA.comの動画コンテンツ制作 （3）KMA.comへの登録促進、日医・府医への入会促進 （4）臨床研修医・専攻医を取り巻く問題の検討 （5）対外活動</p>
27	大阪府	・設置なし
28	兵庫県	<p>①勤務医委員会</p> <p>②昭和60年度</p> <p>③勤務医医学研究助成の実施（優秀研究の表彰） 勤務医組織化の促進強化「組織力強化若手医師育成委員会」との協働 勤務医に係る諸問題の検討及び対応（働き方改革等）</p>

		研修医ウエルカムパーティー、研修医セミナーへの協力 県下病院長、研修・専攻医指導医との懇談会開催
29	奈良県	・設置なし
30	和歌山県	①勤務医委員会 ②昭和 57 年度
31	鳥取県	①勤務医委員会 ②平成 16 年度（勤務医部会改め勤務医委員会設置） ③病院における勤務医の働き方改革等諸問題へ対応。 臨床研修指定病院と協力して勤務医（研修医）の入会を促進し、医師会の組織強化を図る。 医療安全、医事紛争などの勤務医に関する諸問題に対応する。
32	島根県	・設置なし
33	岡山県	①研修医等若手会員への広報活動を考えるワーキンググループ ②令和 4 年度 ③若手医師（勤務医）に医師会をアピールし、入会を促進する。
34	広島県	・設置なし
35	山口県	・設置なし
36	徳島県	①勤務医・研修医委員会 ②平成 20 年度 ③研修医の集い 臨床研修指導医養成講習会 医学生・研修医等をサポートするための会
37	香川県	・設置なし
38	愛媛県	①愛媛県医師会勤務医部会委員会 ②昭和 60 年度 ③愛媛県医師会勤務医部会の開催 全国医師会勤務医部会連絡協議会への参加 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への参加 中国四国医師会連合勤務医委員会への参加 研修医ワークショップの開催 医師会共同利用施設連絡協議会への参加 臨床検査精度管理調査報告会への参加 プライマリケア連合学会への参加 愛媛県医師会女性医師部会・勤務医病院部合同講演会の開催
39	高知県	①会員問題委員会 ②平成 28 年度（「男女共同参画委員会（平成 22 年度設置）」、「男女共同参画委員会・勤務医委員会（平成 26 年度設置）」を経て設置） ③会員の確保、勤務医会員の確保

高知県の人口あたりの医師数は全国と比べて多い状況には変わらないが、その平均年齢は高く、中央医療圏（特に高知市）へ偏在している。そのほか、産婦人科・小児科など特定の診療科の医師不足がある。また高知県医療体制の特徴として全国と比べて病院・病床は多いが、一般診療所は少ない。このような状況に加え人口減少による医療ニーズの減少から新規開業が増加するとは考えづらく、医師会会員確保には勤務医確保が非常に大切である。

2024年4月から始まった医師の働き方改革により、すべての勤務医に対して時間外・休日労働時間の上限年間960時間が原則的に適応された。医師の長時間労働是正に向けてはタスクシフティング、女性医師等の支援など以前から議論されているが、若手医師にとって研修の機会の喪失につながる恐れも存在する。

高知県の初期臨床研修医採用者はここ数年50～60名前後で推移しておりそのうち約80%が高知県内で専門研修を受けている。高知大学医学部の地域枠制度や県内複数病院が協力した臨床研修システム、「コーチレジ」など研修医が主催する研修医・医学生向け企画など、高知県臨床研修連絡協議会を中心とした様々な取り組みが効果を上げていると思われる。

勤務医会員が増加することで医師会の組織力が向上し効率的な取り組みの実践につながるが、現状では、医師会活動、医師会費への理解不足などから特に公的病院における入会率が依然として低い状況である。

平成27年度からの初期研修医、更に令和5年度からは卒後5年目までの日本医師会会費減免(医師賠償保険のみ)に合わせ、高知県医師会・県下各郡市医師会も会費無料化を開始した。県医師会では、担当委員会を平成28年度より会員問題委員会として再編成し勤務医の入会促進や支援を含む勤務医の諸問題に対応している。

令和7年度は以下の事業を計画している。初期臨床研修合同オリエンテーションにおける医師会活動の説明を行う。新型コロナウイルス感染症の影響でやむを得ず中止していた新研修医歓迎会を昨年度に引き続き開催する。また勤務医、特に研修医・専攻医を対象とした医師会医学会時の医師会活動アンケート及び入会案内を引き続き行う。研修制度やキャリア形成など幅広く若手医師の困り事に対してメールにて相談応需を行う「若手医師応援コーナー」（県医師会ホームページにバナーを設置）については、活用実績が低く周知されていないことが一因と考えられることから、対面での会議などを模索していく。

高知県の研修医自らが研修環境の改善や研修医の高知県内定着を目指して設立した団体である「コーチレジ」はコロナ禍で活動が停滞していたが、県医師会としてはこうした研修医の取り組みを支援していきたい。

中四国各県の勤務医に関する議論・意見交換を行い、医療にかかわる問

		<p>題を勤務医の視点から検証し集約された意見として日本医師会への提言等を行っていくことを目的とした中四国医師会勤務医委員会及び全国医師会勤務医部会連絡協議会等を通じて情報共有・意見交換を行い県医師会の活動に生かしていく。</p> <p>県行政と連携した取り組みとしては、県医療政策課と協力して、研修医に向けた県内臨床研修病院の説明会や研修プログラムの紹介、医師養成事業への協力を引き続き行っていきたい。また、高知医療再生機構が運営する医師確保に関する事業に関しては、今後も協力を続けていく。</p>
40	福岡県	<p>①勤務医部会委員会</p> <p>②昭和 60 年度</p> <p>③勤務医相互または開業医との連携強化等、勤務医に関する諸問題についての協議、検討を行うことを目的とし、勤務医部会委員会を設置している。本委員会におけるこれまでの勤務医意見の集約や支援、組織強化に関する提言では、特に若手医師の声に耳を傾け、新たな意見を取り入れて医師会組織自体も変革していき、信頼や理解を得ながら、いかに勤務医の処遇改善に努めていけるかが大変重要であることが明らかとなった。今期の委員会では、諮問・答申を設けずに、これまでの提言の中から、実際に勤務医支援や入会促進に資する取り組みを実行する 2 年間として、委員会活動テーマ「勤務医の医師会活動への参画の推進」のもと取り組みを実施していく。また、若手医師をはじめとする未入会医師に対し医師会活動の意義と会員支援を周知することにより入会促進に取り組んでいる。引き続き、若手医師の医師会事業への理解の促進や帰属意識の醸成に向け、検討を重ね取り組んでいく予定。</p>
41	佐賀県	<p>①勤務医対策委員会</p> <p>②平成 24 年度</p> <p>③事業計画なし</p>
42	長崎県	・設置なし
43	熊本県	・設置なし
44	大分県	<p>①大分県医師会勤務医委員会</p> <p>②平成 20 年度</p> <p>③県医師会報を利用し、勤務医の医師会活動の呼びかけ。(勤務医ページへの原稿掲載)</p>
45	宮崎県	<p>①宮崎県医師会勤務医委員会</p> <p>②平成 22 年度</p> <p>③事業計画なし</p>
46	鹿児島県	<p>①男女共同参画委員会 (令和 6 年度より勤務医委員会が女性医師委員会と合併し、男女共同参画委員会となった。)</p> <p>②勤務医委員会：昭和 59 年度、男女共同参画委員会：令和 6 年度</p>

	<p>③ (1) 勤務医師の鹿児島県医師会への一層の加入促進に関する方策を協議する。特に若手医師（研修医等）に対する働きかけを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師会未入会の医師に対し、医師会活動の重要性や入会の意義・メリット等を周知 ・ 加入促進や情報提供ツールとしての、ホームページや SNS 等を活用した広報の検討 <p>(2) 勤務医師のキャリア形成に向けた支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鹿児島大学医学部医師会と連携し、勤務医師が積極的に医師会活動に参加できるための環境を整備 ・ 医師信用組合並びに勤務医協の利用案内と、福利厚生事業の充実。 <p>(3) 「医師の働き方改革検討委員会」を開催し、高い医療提供体制の維持と医師自身の健康確保の両立を推進する。</p>
47 沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置なし

男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会等の名称、事業計画等

(令和7年11月1日現在)

①委員会等の名称、②本年度の事業計画等

	医師会	事業計画等
1	北海道	・設置なし
2	青森県	<p>①男女共同参画委員会</p> <p>② (1) 勤務医の勤務環境改善及び男女共同参画の推進 男性医師と女性医師が互いに協力しながら、医師全体、特に勤務医のワークライフバランスの向上に必要な支援を行う。 育児中の医師の就労支援や出産後の女性医師の復職支援を推進していく。また、勤務医部会と連携し、男女共同参画推進事業の普及・啓発を図ることを目的に、以下の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画委員会の開催 ・ワークライフバランス推進室運営会議の開催 ・青森県医師会・弘前大学医学部男女共同参画セミナーの開催 ・県委託事業である医師相談窓口の運営 ・ホームページ、ニュースレター、メーリングリスト等を活用した積極的な情報提供 ・研修病院等訪問による研修医・勤務医・病院管理者との情報交換 ・病院管理者・開設者に、ワークライフバランスを考慮した勤務環境の実現を啓発する活動 ・女性医師に対する、キャリアアップを目指すための支援 <p>(2) 女性医師の医師会活動への参画推進 研修医、勤務医の医師会活動に対する理解を深め、加入を促進する。また、医師会活動に女性医師が参加しやすい環境整備について検討する。</p>
3	岩手県	<p>①岩手県医師会女性医部会</p> <p>② (1) 女性医による対外活動 (2) 医学生との交流 (3) 講演会・研修会の実施 (4) 女性医等の健康・育児・介護サポート (5) 女性医の職場復帰支援 (6) 医政への積極的参加</p>
4	宮城県	<p>①宮城県ダイバーシティ支援センター</p> <p>②勤務環境改善・復職支援・保育支援の三部門編成。年3回程度会議、部会を開催し、医療機関における女性医師の労働環境の把握や院内保育の実態把握の為にアンケートや働く医師の子育て事情に関するアンケートを実施している他、女性医師や医学生からの個別相談の受付、医学生・</p>

		研修医向けのセミナーを開催している。
5	秋田県	①次世代医師サポート委員会（令和4年8月に男女共同参画委員会より名称変更） ②県内女性医師等支援事業運営協議会、支援員による病院訪問、「医学生、研修医をサポートするための会」の準備と開催
6	山形県	・設置なし
7	福島県	①男女共同参画・医師支援委員会 ②委員会の開催（年1回） ・女性医師支援セミナーの開催 ・福島県立医科大学キャリアアップセミナー&キャリアサポート交流会の共催。臨床研修医との面談（WEB併用） ・女性研修医に対する支援事業及び相談会
8	茨城県	①男女共同参画委員会 ②医療におけるダイバーシティ推進フォーラムの実施 高校生医療作文コンクールの実施
9	栃木県	①栃木県医師会女性医師部会、栃木県医師会男女共同参画委員会 ②栃木県医師会女性医師部会：理事会、研修会
10	群馬県	①女性医師支援委員会 ②適宜委員会を開催（年1回程度） 保育サポーターバンクの運営 「医学生・研修医等をサポートするための会」の開催
11	埼玉県	①女性医師支援検討委員会 ②（1）女性医師支援検討委員会、郡市女性医師担当理事会議等の開催 （2）相談事業、病院訪問 （3）リーフレット作成 （4）男女共同参画フォーラム等への参加 （5）女性医師懇談会 （6）医学生・研修医等をサポートするための会 （7）女性医師等の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会 （8）若手医師・医学生のための働き方講演会
12	千葉県	①多様性社会推進委員会（令和7年5月まで男女共同参画推進委員会） ②〔千葉県医師会〕 （1）多様性社会推進委員会（旧 男女共同参画推進委員会）開催 （2）ダイバーシティ懇談会（旧 男女共同参画懇談会）の開催 （3）多職種意見交換会～婚活交流会～（仮称）の開催 （4）男女共同参画について医師の意識調査の活用 （5）勤務医委員会への協力

	<p>(6) 医師の働き方改革への協力（ワークライフバランスの推進・支援）</p> <p>(7) 女性医師の医師会活動への支援</p> <p>(8) 性の多様性の理解に対する啓蒙・推進活動</p> <p>(9) 出産祝い金制度の周知協力</p> <p>〔日本医師会等〕</p> <p>(1) 日本医師会女性医師バンク事業への協力</p> <p>(2) 男女共同参画フォーラムへの参加・協力（5/17 郡山市）</p> <p>(3) 医学生、研修医等をサポートするための会（なのはな交流会）の開催</p> <p>(4) 地域における女性医師等支援のための会の開催</p> <p>(5) 女性医師の勤務環境整備に関する病院長等への講習会の開催</p> <p>(6) 研修会等への託児サービスの周知・活用</p> <p>(7) 担当役職員連絡協議会等への参加</p> <p>(8) 女性医師支援・ドクターバンク連携関東甲信越・東京ブロック会議の出席（担当：長野県医師会）、関東甲信越・東京ブロック各都県医師会との連携</p> <p>〔県行政・関係団体〕</p> <p>(1) 県行政・関係機関の男女共同参画推進事業、多様性社会推進事業への協力</p> <p>(2) NPO 法人千葉医師研修支援ネットワークへの協力（再掲）</p> <p>(3) 千葉県医師キャリア支援センターへの協力（再掲）</p> <p>(4) 千葉県ドクターバンクへの協力（再掲）</p> <p>〔その他〕</p> <p>(1) 女性活躍・男女共同参画の重点方針 2023 政策・方針決定過程への女性の参画拡大（2030年30%）の協力</p>
13	<p>東京都</p> <p>①次世代医師・女性医師支援委員会</p> <p>② (1) 医学生、若手及び女性医師のキャリアサポートを推進する。</p> <p>(2) 日本医師会女性医師支援センター事業に協力し、男女共同参画事業の推進、女性医師支援に努める。</p> <p>(3) 「医学生、研修医等をサポートするための会」を各大学と協力して開催する。</p> <p>(4) 新研修医を対象としたオリエンテーション等の開催を検討し、医師としての資質向上・医師会活動への参画を図り、組織力の強化に努める。</p> <p>(5) 「医学生懸賞論文プラタナス大賞」を要綱に基づき表彰し、将来医師となる医学生を支援するとともに、医学生と情報等を共有し、新たな医師会活動の創出に努める。</p>
14	<p>神奈川県</p> <p>①医師相互支援委員会</p>

		②女性医師等支援対策の推進、その他女性医師等支援に関する啓発及び情報共有等、男女共同参画の推進
15	新潟県	・設置なし
16	富山県	①男女共同参画委員会 ②開催は未定
17	石川県	①女性医師支援委員会（設問 5 の勤務医に関する委員会（勤務医活動推進委員会）との合同開催） ②勤務医フォーラム、勤務医部総会、病診連携の集いの開催
18	福井県	①女性医師支援委員会 ②令和 7 年 10～11 月頃開催予定 「医学生、研修医のためのキャリアデザインシンポジウム」「子育てドクターの会」を令和 8 年 2～3 月頃開催予定 諮問事項：多様化する社会への対応～男女共同参画・ダイバーシティの実現に向けて～ 1.医師の生涯キャリアに寄り添ったサポートの実現に向けて～研修医からセカンドキャリアまで～ 2.ふくい女性医師支援センター事業の充実、周知・広報活動の強化について 3.多様化する社会に向けた今後の委員会のあり方について 4.ドクターバンク運営の検討
19	山梨県	・設置なし
20	長野県	・設置なし
21	岐阜県	①岐阜県医師会男女共同参画委員会 ②岐阜大学医学部 5 年生に対する講義（7 月 4 日）、第 1 回岐阜県医師会男女共同参画講演会～医学生・研修医等をサポートするための会～（12 月 11 日）、岐阜県医師会男女共同参画（本会・勤務医部会）合同委員会（年 1 回）、若手医師交流会（令和 8 年 2 月 27 日）、第 2 回岐阜県医師会男女共同参画講演会（令和 8 年 3 月 5 日）
22	静岡県	①ワークライフバランスワーキンググループ ②ワークライフバランスワーキンググループ 1 回、女性医師ロールモデル講演会 1 回、女性医師キャリア支援シンポジウム 1 回
23	愛知県	①男女共同参画委員会 ②委員会の開催（年 6 回）
24	三重県	①男女共同参画委員会 ②医学生・研修医等をサポートするための会（R7.12.17 開催）、女性医師支援に関する講演会や研修医交流会（R7.11.30 開催）を予定。
25	滋賀県	①医師のワーク・ライフ・バランスを考える会（ワーキンググループ） ②女性医師懇談会

		医学生・研修医等をサポートするための会
26	京都府	<p>①医師のワークライフバランス委員会</p> <p>②若手医師の意見を取り入れながら支援策を検討 [本年度の事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポートセンター（医師会館内の保育施設。課題であった対応時間の大幅拡張済。稼働率上昇で今後のさらなる内容改善につなげる） ・ワークライフバランス塾 in 京都（旧称：医学生・研修医をサポートする会。当事者を巻き込む仕組み作りについて、綿密な計画が必要） ・子育て医師の会（先輩医師と個別具体的な深い相談ができる会は重要。） ・「妊娠に際し職場のみんなで読むマニュアル」の広報及び妊娠時に職場で安心して共有・調整できるよう実用的なマニュアルの作成。 <p>(https://ninshin-kyoto-ishikai.jp/)</p>
27	大阪府	<p>①男女共同参画検討委員会・女性医師支援ワーキンググループ</p> <p>②（1）委員会の開催：任期2年間の中で5回程度開催。大阪府医師会としての男女共同参画事業（各種講演会やアンケート）の検討、現状の課題についての意見交換を行っている。</p> <p>（2）院内保育所アンケートの実施：およそ2年おきに実施。府内の基幹型臨床研修病院に対して院内保育所の有無を確認するとともに、設置を促す目的で実施している。</p> <p>（3）医学生、研修医をサポートするための会：年1回開催。在阪5大学の協力を得て、医学生、研修医に多く参加していただけるよう開催。</p> <p>（4）女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会：年1回開催。毎年、病院や行政、法律など様々な視点からの講演を実施。</p> <p>（5）女性医師支援ワーキンググループ：委員任期2年間、府内11医療圏を4ブロックに分けて活動。男女共同参画関連の講演会や冊子の発行などを行っている。</p>
28	兵庫県	<p>①男女共同参画推進委員会</p> <p>②イクボス大賞2025表彰式、男女共同参画フォーラム、ダイバーシティ研修会、地域における女性医師等支援のための会、病院勤務医・研修医等との懇談会等を実施</p>
29	奈良県	<p>①奈良県医師会男女共同参画推進事業ワーキンググループ（令和5年10月発足）</p> <p>②会内の男女共同参画推進のため、全会員を対象にアンケート調査を実施。本調査は、会員の男女共同参画ならびに女性医師支援に関する活動状況を把握し、これらの問題に対する意識を理解することで県内医療従事者のワークライフバランスや職場環境の改善に役立てることを目的としている。</p>

30	和歌山県	①男女共同参画委員会
31	鳥取県	①男女共同参画推進委員会 ②年1回「鳥取県女性医師の会」開催 県医師会ホームページ「Joy!しろうさぎネット」を通しての相談受付・対応 県医師会報「Joy!しろうさぎ通信」にて女性医師等支援に関する情報や、キャリアアップ・育児・介護などの幅広い話題を提供 男女共同参画活動を推進することを目的に、会員の優秀な業績を表彰する「Joy!しろうさぎ大賞」を創設（令和5年度より）
32	島根県	①島根県医師会男女共同参画委員会 ②「島根県医師会男女共同参画フォーラム—医学生、研修医等をサポートするための会—」を計画し、令和7年11月13日に開催することとしている。
33	岡山県	①岡山県医師会女医部会 ②委員会、総会、講演会等の開催、会報・研修医レターの発行 関連会議への出席 運動イベント（山陽女子ロードレース等）での救護活動 勤務医部会との連携と発言力の強化 女性指導医の活躍の促進（顕彰事業） 医学生インターンシップ事業
34	広島県	①女性医師部会 ②（1）広島県医師会女性医師部会（5/26） （2）広島県医師会子育て支援事業「保育サポーターバンク」 （3）日本医師会男女共同参画委員会（5/9、8/29） （4）第19回男女共同参画フォーラム（福島）（5/17） （5）夫婦別姓についてのアンケート
35	山口県	①男女共同参画部会 ②(1) 若者のキャリア形成に役立つ企画イベントの開催 (2) 男女共同参画推進事業助成金 (3) 医学生と医師との交流会、医学生への講義 (4) 県内医療機関の女性勤務医ネットワークの構築 (5) 男女共同参画・女性医師部会地域連携会議の開催 (6) HP等を通じた情報発信 (7) 介護に関する制度変更時の情報提供
36	徳島県	①男女共同参画委員会 ②医学生・研修医等をサポートするための会 地域における女性医師支援懇談会 女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への

		講習会
37	香川県	①男女共同参画推進委員会 ②委員会の開催、アンケート調査の実施
38	愛媛県	①愛媛県医師会女性医師部会委員会 ②愛媛県医師会女性医師部会の運営 女性医師支援相談窓口の整備 関係団体等が開催する関連会議等への参加 日本医師会女性医師支援センター再就業講習会事業の実施（名称変更） 女性医師部会と勤務医病院部会の合同講演会の開催 地域のマドンナ・ドクタープロジェクトの運用（新規） 保育サポーターシステム（病児保育を含む）の広報 おイネ賞事業の共催 愛媛県医師会無料結婚支援「チーム・キューピット」の運営
39	高知県	①会員問題委員会 ② 男女共同参画については、会員問題委員会の中で活動をしている。高知県の女性医師及び医師会の女性会員の割合はそれぞれ約 2 割である。また役員 27 名中、女性は理事に 1 名の 3.7%で、2020 年に女性役員が 15 %以上という日医の目標には残念ながら未だ到達できていない。 一方、県の女性医師の割合は 2 割を超え増加し続けている。特に 40 歳未満の若手女性医師は 4 割を占めている。このことは 20 歳代から 40 歳前半のいわゆる子育て期の女性医師が増加していることである。高知大学の女子医学生の割合が 5 割を超えた学年もあり、医師国家試験合格者のうち、女性は常に 3 割以上である。複数の大学医学部入学試験で女子受験生に対して複数年にわたり不利益な差別があったことが社会的に大きな問題になったことで、女子受験生に対して公平な入試が行われ、今後若手女性医師の増加が更に加速することが予想される。女性医師の活躍がなければ地域医療は成り立たないことは明白である。 県医師会は、医師として社会貢献する責任があり、キャリア形成の必要性を男女ともに学生の早い時期から教育していくことが重要であるという観点から「男女共同参画やワークライフバランスについて」の講義を 14 年にわたり毎年高知大学の医学生に行っている。その中で、日本のグローバル・ジェンダー・ギャップ指数が 118 位であること、職場・家庭での男女の労働環境や意識格差等を講義し、着実に成果を挙げていることを実感している。今年度も継続していく所存である。 また、日本医師会が行っている女性医師バンク事業には積極的に協力し、男女共同参画フォーラム、勤務医部会連絡協議会や日医女性医師支援・ドクターバンク連携中国四国ブロック会議に参加することを通じて医師としてのキャリア継続、復職支援を行っていく。

		<p>女性医師が仕事を継続し能力を十分発揮していくためには、多様な勤務形態を可能とする環境を実現するとともに、女性医師自らが社会に貢献していくという自信と誇りを持ち続けなければいけない。また、共に働く医療現場の男性職員の意識改革がなければ、環境改善は成し得ないことである。女性医師の労働環境改善は、男女が共同して進めていくことが大切である。女性医師にとって働きやすい環境は、男女ともに働きやすい環境でもあり、その改善に向けて今年度も活動を推進していく所存である。</p>
40	福岡県	<p>①男女共同参画部会委員会 ②医療全般において女性の果たす役割が大きくなっている現状を鑑み、平成18年度に男女共同参画部会を設立し、男女共同参画を進める上で直面する諸問題等について検討している。</p> <p>1) 委員会、2) 研修会、3) 医学生、研修医等をサポートするための会、4) 地域における女性医師等支援のための会、5) 女性医師相談窓口、6) 臨時託児室の設置 等</p>
41	佐賀県	<p>①男女共同参画委員会 ②事業計画等はなし。年2回程委員会を開催。また、女性医師相談窓口を設置し、支援体制を構築しているところである。</p>
42	長崎県	<p>①長崎県医師会男女共同参画委員会 ②今年度は開催予定なし</p>
43	熊本県	<p>①熊本県医師会男女共同参画委員会 ②女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者講習会、医学生・研修医等をサポートするための会、地域における女性医師支援懇談会開催など。</p>
44	大分県	<p>①大分県医師会男女共同参画委員会 ②県医師会報を利用し、女性医師の医師会活動の呼びかけ（女性医師コーナーへの原稿掲載）</p>
45	宮崎県	<p>①宮崎県医師会男女共同参画委員会 ②委員会開催（8月25日開催）</p>
46	鹿児島県	<p>①男女共同参画委員会 ②（1）医学生・若手医師とシニア医師のキャリア形成支援と交流を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女を問わないキャリア形成や若手医師同士のネットワークづくりを支援するために交流会を開催 ・鹿児島大学医学部医学科卒業時に医師会からのメッセージの配付と、医師会への加入促進を行う <p>（2）妊産婦支援事業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マタニティスクラブ・パンツの無料貸出事業の周知強化

	<p>(3) 日本医師会女性医師支援センター事業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「病院長、病院開設者・管理者等への講習会」の開催の検討 ・「医学生・研修医等をサポートするための会」の開催の検討 ・育児・介護支援等についての啓発 ・男女共同参画やワークライフバランスについての啓発 ・日本医師会女性医師バンクの普及啓発 <p>(4) 日本医師会男女共同参画フォーラム等、医師会活動への積極的参加を促す。</p> <p>(5) 県内各地区の女性医師（開業医・勤務医）との連携を強化する。</p> <p>(6) 院内保育・病児保育施設等の訪問を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内保育、病児保育、学童保育等の質の向上と保育のあり方を考え、現場の訪問を行い医師会報に情報を発信し、共に考え、より良い就業環境を整備する
47 沖縄県	<p>①沖縄県医師会女性医師部会</p> <p>② (1) 女性医師等就労支援相談窓口事業</p> <p>沖縄県からの委託事業として、女性医師等の離職防止や再就業の促進を図ることを目的に、女性医師等相談窓口を設置する。さらに、労働環境改善の促進を図る周知啓発活動や医師への職業紹介、出産や育児、再就業等の相談に応じる体制を整備する。</p> <p>(2) 女性医師部会役員会（年1回）</p> <p>女性医師会員を中心に構成され、以下の事業を遂行するための検討を行い、男女共同参画社会の実現等に資する会議である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県医師会ドクターズフォーラム <p>医師を取り巻く現状や諸問題の解決に向けて、様々なテーマを取り上げ、フォーラムを企画開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性医師の勤務環境整備に関する病院長等との懇談会 <p>女性医師の働きやすい環境を整えていくことが、医師確保の面からも喫緊の課題であると考え、各施設の女性医師の働きやすい環境を目指し意見交換を行い、より良い勤務環境整備や環境改善等につながることを促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修医への講義の実施（年1回） <p>女性医師等が抱える様々な課題を適切に対処し、男女共同参画社会の実現を果たしていくためには、研修医の時期からキャリアプランを考えていくことが極めて重要であることから、初期臨床研修医への講義に役員を派遣する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学医学生への講義の実施（年1回） <p>働き方改革が進む中、ワークライフバランスやキャリアプランを意識した働き方が重要となることから、現役医師から現場の状況や経</p>

	<p>験、医師の心得等を学生に対してアドバイスし、今後の将来設計を考えるきっかけとなるよう、講義を実施する。</p> <p>(3) 女性医師支援担当者連絡会並びに、女性医師支援センター事業九州ブロック会議への派遣</p> <p>全国の医師会と連携を図るとともに、各地域で行われている女性医師の就業継続支援や復帰支援（再研修を含む）等の取り組みについて意見交換を行う。</p> <p>(4) アンケート調査の実施</p> <p>働き方に関する支援の状況並びに各地域のニーズを調査し今後の事業展開を模索することを目的にカテゴリー別（子育て中、独身、シニア、男性など）のアンケート調査を実施する。</p>
--	---

勤務医及び女性医師の加入促進策についての具体的な内容(令和7年11月1日現在)

医師会	加入促進策についての具体的な内容
1 北海道	<p>①北海道の補助金（地域医療介護総合確保基金）を財源に、「医師キャリアサポート相談窓口」を開設しており、女性医師に限らず全ての医師からのキャリア相談や医師が働きやすい環境の整備、定年退職後の雇用継続等について対応している。</p> <p>②臨床現場への復職を目指して研修を希望する女性医師等に対して、「復職研修事業」を実施しており、身近な地域の医療機関において指導医のもとで復職研修を受講してもらう。復職研修受入医療機関に委託し研修を実施の上、潜在化している女性医師等に職場復帰を促し、地域の医師不足対策に資することを目的としている。</p> <p>③「無料職業紹介事業」では、医療機関の求人情報と上記復職研修修了後の就職先を紹介し、雇用関係の成立まで支援している。</p> <p>④研修会等への託児サービス併設費用・育児のための費用の一部を負担している。</p>
2 青森県	<ul style="list-style-type: none"> ・女性医師（会員・非会員ともに）・研修医に対して隔月発行のニューズレターを送付し、医師会活動を広報している。 ・弘前大学医学部と共催して男女共同参画セミナーを開催し、医学生に対して医師会活動の広報を行っている。 ・臨床研修病院等訪問の際に加入をお勧めしている。
3 岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務医部会移動幹事会 ・岩手県医師会女性医部会と岩手医科大学学生との懇談会の開催 ・岩手県医師会女性医部会と県内女性医師との意見交換会の開催 ・岩手県医師会と新医師との懇談会
4 宮城県	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務医・研修医向けにパンフレットを作成・配布し、医師会の様々な活動（キャリア支援や産業医等の各種資格取得に係る情報提供、医事紛争への対応等）を紹介している。 ・宮城県医師育成機構が企画・開催している臨床研修医合同説明会で本会役員が研修医等に昨今の医療情勢や医師会活動の紹介、入会のメリットなどの講義を行っている。 ・医師会の広報活動として県内の臨床研修病院へ毎月発行している会報誌を配布している。 ・本会組織強化委員会を立ち上げ、県内の臨床研修病院の病院長・研修部長への説明や、病院の研修医入職ガイダンス等へ赴き、医師会の紹介等を行っている。
5 秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ①大学医師会との定期的な会合の開催 ②初期研修医を対象とした「新医師歓迎レセプション」を毎年4月に開催

		③卒後 5 年医師の会費無料化
6	山形県	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県研修医歓迎レセプションの実施（県、大学と共催） ・臨床研修医症例報告会の実施 ・医学部卒後 5 年間の会費無料化 ・医学生会員制度の実施 ・若手医師によるディスカッションの実施 ・女性医師へインタビューを実施し、HP へ掲載 ・女性医師と医学生の意見交換会の実施 ・病院協議会との懇談会で病院長への医師会入会促進を依頼
7	福島県	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療症例検討会（臨床研修医等の若手医師の技術力向上と医療レベルの強化を図るために福島医大と福島県医師会の共催で 4 地区で開催）において、「医師会のしおり」「日本医師会入会案内」等を配布し、加入促進。 ・福島医大の卒業生に「医師会のしおり」「日本医師会入会案内」等を配布し、加入促進。 ・県医師会若手医師育成支援事業補助金をもって支援した若手医師の勉強会等で「医師会のしおり」「日本医師会入会案内」を配布し、加入促進。 ・福島県医師会医学奨励賞には、若手女性医師部門を設けている。
8	茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ①若手勤務医サポートデスクを創設（県内 25 郡市医師会中 16 医師会参加） 40 歳以下勤務医の郡市等医師会入会金無料 40 歳以下勤務医の郡市等医師会費を年額 24,000 円に統一 ②研修医・勤務医向け入会案内リーフレットの作成、配布 ③医学部卒後 5 年間の会費減免 ④茨城県医師会勤務医学術奨励賞の実施 ⑤医師就業支援相談窓口（就業復職等に関する相談受付及び病児保育推進） ⑥若手医師、妊娠中・子育て医師向けサポートガイドの作成、HP での公開 ⑦筑波大学医学群医学類 6 年生への特別講演 ⑧茨城県臨床研修医合同懇話会の実施 ⑨茨城県医師協同組合賛助会員創設による会員のメリット向上
9	栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務医部会及び女性医師部会は医師会非会員でも入会可能としており、部会の会合や研修会等で医師会活動を周知し、非会員の新規入会を促進している。 ・若手医師に対する卒後 5 年目までの会費減免（特別会員）に加え、初期臨床研修医を対象とする研修会（臨床研修医交流会、臨床研修屋根瓦塾 TOCHIGI）を開催し、医師会活動に対する理解を深め、新規入会を促進している。
10	群馬県	<p>（勤務医）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度より臨床研修医の会費無料化に加え、令和 2 年度より、専攻

	<p>医の会費無料化を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度より、県・医師会・大学・県内医療機関が連携して、県内全研修医を対象とした「群馬県新臨床研修医合同オリエンテーション」を開催している。 ・臨床研修病院を訪問し、医師会加入を呼び掛けている。 (女性医師) ・地域医療介護総合確保基金を活用して、平成24年に「群馬県医師会保育サポーターバンク」を設立し、子育て医師の保育支援を行っている。
11	<p>埼玉県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の確保や医師の地域偏在・診療科偏在の解消などに取り組むため、埼玉県医師会と埼玉県が埼玉県総合医局機構を創設。埼玉県女性医師支援センターも総合医局機構の一環として、出産や育児、介護などを機に医療現場を離れた女性医師に対して、育児支援に取り組む医療機関の情報提供や復職等の相談窓口を設けている。 ・日本医師会の趣旨に則り、卒後5年間の会費免除に加え、本会では卒後5年を経過した研修医についても会費の免除をしている。また、出産育児の事由による免除も同様に実施しており、各郡市・大学医師会にも対応をお願いしている。 ・勤務医部会では郡市医師会に入会された方への「勤務医部会入会のお祝い」文書を作成し、郡市医師会に配付を依頼している。
12	<p>千葉県</p> <p>なのはな交流会において、女性医師等支援のため、若手医師のキャリア形成、子育て中の就労継続支援（育休・パパ育休）について相談に乗り、医師会活動について周知している。</p>
13	<p>東京都</p> <p>(1) 東京都医師会と都内12大学医師会及び杏林大学との連絡協議会の開催 公衆・保健衛生、卒前教育、卒後教育、生涯教育、医療行政、医療事故対策、地域医療などにおける大学・地区医師会の活動、役割を認識し合うことによって大学病院勤務医の医師会への入会が促進すると考え、必要に応じ開催している。</p> <p>(2) 医師会に入会することにより次の特典があることを説明している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①研修医期間中と医学部卒後5年間は会費無料化を実施している。 ②東京都医師国民健康保険組合に加入できること。 ③日本医師会医師賠償責任保険、医療事故調査費用保険、東京都医師会団体加入医師賠償責任保険、東京都医師会休診補償制度、その他東京都医師会が団体契約を行っている各種保険の加入資格ができること。 ④日本医師会医師年金に加入できること。 ⑤講習会・研修会等の情報が速やかに伝達されること。 ⑥診療所新規開業の際、東京都医師会の事業として東京都医師会提携のコンサルタント会社の紹介が受けられること。 ⑦本会顧問弁護士による法律相談が受けられること。

14	神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・会費減免または免除 ・大学区医師会の設立 ・臨床研修病院オンライン合同説明会の開催（パンフレットに医師会広告、当日も医師会 PR 動画放映） ・研修医オリエンテーションの開催（医師会の活動について講演、休憩時間に医師会 PR 動画放映、資料に医師会入会チラシを同封） ・医学生、若手医師のための特設サイト「かながわでドクター かなドク」を設置、特設サイトのブランディング ・女性医師等支援委員会に非会員（子育て中の勤務医、大学主任教授など）を委員として参画 ・(女性) 医師のキャリア形成について講演会開催（サポートするための会） ・地域医師会に県医師会の組織力強化の取組みを頻回に発信（地域医師会単位での病院への出前説明会、懇親会の開催を支援） ・地域医師会間の会費や入会金の偏りを統一できるよう検討 ・県医師会内委員会である未来医師会ビジョン委員会に非会員の若手、女性、勤務医を委員として招聘 ・若手医師との懇談会の実施（メディカルノートが取材、発信） ・医師会紹介ショート動画の作成
15	新潟県	<p>①県医師会費の減免 大学医学部卒業後 5 年間の会員を対象</p> <p>②にいがた勤務医ニュースの発行 勤務医ニュースを年 4 回発行。毎回、様々なテーマで執筆をお願いし、主に勤務医に向け情報発信を行っている。毎年 3 月はテーマを「卒業おめでとう」として発行し、新潟大学医学部卒業生へ配布することで本会の活動を PR している。また、年 1 回の発行テーマを「研修医から医師会への提言」とし、若手医師の意見を取り入れる機会を設けている。</p> <p>③新潟県女性医師総合支援センターの活動 新潟県の委託を受け、女性医師の支援活動を行っている。女性医師の相談窓口を開設し、相談内容からドクターバンク事業につなげ、女性医師の就労支援等を行っている。</p>
16	富山県	<p>勤務医、女性医師、医学生に向けて、下記の事業等を説明する機会を設けている。</p> <p>①キャリア形成支援事業 講演会や意見交換会を開催し、医学生と県内医師とのネットワークを作り、女子医学生の県内定着率を向上させることが目的。</p> <p>②富山大学医学部 4 年生への講義</p> <p>③富山大学附属病院での座談会 「Smart Cafe in 医学系座談会」</p>

	<p>④臨床研修医研修 令和6年度採用の臨床研修医を対象に医師会や医療を取り巻く社会情勢、診療報酬の仕組み等、県医師会が取り組む女性医師支援について説明を実施。</p> <p>⑤女性医師等支援相談事業 相談窓口の設置、巡回相談、広報活動</p>
17	石川県 <ul style="list-style-type: none"> ・金沢エムザ「Mei ロイヤルカード」(特典付)の入会のお勧め(平成26年度～) ・いしかわ研修医合同オリエンテーションにおける医師会の紹介(平成28年度～) ・「石川県医師会入会の手引き」の更新と配布 ・「女性医師支援センターパンフレット」の更新と配布 ・会内産業医部会、健康スポーツ医部会入会のお勧め(研修会受講料無料) ・日医かかりつけ医機能研修制度研修会、専門医共通講習会、母体保護法指定医師研修会の受講料無料 ・石川県医師信用組合(資金支援等)、石川県医師国保組合(国民健康保険の加入)、石川県医師協同組合(保険販売等)の加入
18	福井県 特になし
19	山梨県 勤務医部会で開催したイベント等で、勤務医の医師会加入への働きかけを行っている。
20	長野県 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務医と長野県医師会との懇談会の開催 ・医学生・研修医等をサポートするための会の開催 ・郡市医師会を通じ入会促進を依頼 ・ホームページに「入会案内」を掲載 ・出産育児中の女性会員、大学医学部卒後5年以内の会員の会費を免除 ・県内臨床研修病院で開催されている「研修医オリエンテーション」に本会役員が参加し、医師会活動の紹介をしている
21	岐阜県 <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県医師会新入研修医ウェルカムパーティーでの入会促進 ・医学医術の研鑽、医道の推進、勤務環境の向上のための調査・研究助成(勤務医部会の部会員が対象) ・男女共同参画講演会 ・医学生・研修医をサポートするための会(座談会含む) ・若手医師交流会 ・ぎふ医師就業支援センター(ドクターバンク)
22	静岡県 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務医向け入会促進パンフレットの配布 ・県内医学生(4年生)を対象とした県医師会長による講義 ・研修医向けの医師会加入説明会の開催 ・「郡市医師会組織強化担当役員連絡協議会」の開催(予定)

	<ul style="list-style-type: none"> ・「勤務医委員会 NEWS」発行（予定） ・「静岡県医師バンク」の運営（医師の就業支援とキャリア支援） ・「屋根瓦塾 in Shizuoka」の開催（屋根瓦方式により、研修医や医学生に実践的な学びの場を提供） ・「Welcome Seminar in Shizuoka」の開催（研修医を対象に『医師臨床研修指導ガイドライン（2020年度版）』の中で研修が必須とされている項目をテーマに講義形式による研修を実施） ・「静岡県の医療クランクを育てる会」の開催（勤務医の負担軽減を支援） ・女性医師支援事業「ロールモデル講演会」の開催 ・女性医師支援事業「キャリア支援シンポジウム」の開催 ・学生・研修医交流会「はまキャリ」の開催
23	愛知県 <ul style="list-style-type: none"> ・「研修医ウェルカムパーティー」の開催。 ・本会役員が県下の大学へ赴き、研修医や若手医師に対して、医師会活動を含め、医療情勢について講義を行っている。 ・勤務医部会の事業ではないが、関係団体に勤務医師生活協同組合があり、本会勤務医部会は毎年講演会を共催する等協力して事業を行っている。協同組合では、勤務医向けの保険事業やマンション購入の際の優待サービスを行っており、医師会活動に興味を持ってもらうきっかけとなっている。
24	三重県 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務医（研修医）向けの加入促進パンフレットを作成している。 ・研修医の交流会（三重県内の研修医と研修医が所属する病院長対象）を開催。三重県知事による研修医への特別講演や、三重県医師会の取り組み説明等を行い、勤務医の入会を促している。 ・三重県病院協会と連携を図り、情報共有を行っている。
25	滋賀県 <ul style="list-style-type: none"> ・医学生（1年生、6年生）への講義 医師会の役割の説明 ・医師会組織強化対策連絡協議会（1回開催予定） 専門医会に対して、加入促進 ・WATCH in Shiga 2025（臨床研修1年目の研修医を対象とした研修会） 医師会の役割を説明、日本医師会入会案内パンフレットの配布
26	京都府 <p>◆KMA.com</p> <p>新研修医総合オリエンテーションをはじめとする研修医事業を通じて多くの初期研修医が入会するが、3年目の修了時には、勤務先の異動や府外への転出に伴い、その後の連絡が途絶えてしまう。</p> <p>全国各地、どこにいても「つながり」を維持できる新たな仕組みが必要であり、研修医・若手医師の目線に立った仕組みづくりを目指して令和5年4月に「KMA.com」を新設。</p> <p>研修医、若手医師のニーズにあった魅力ある情報提供と定期的な情報発</p>

		信に努める。
27	大阪府	<p>・若手医師・研修医向けの会の開催</p> <p>①毎年4月に「新研修医ウェルカムパーティ」を開催 ⇒平成25年度より開催し、今年で9回目。今回は診療科紹介ブースを設置。</p> <p>②毎年1回「ウェルカムパーティ Part II（現称 研修医・医学生交流会）」を開催 ⇒研修修了間際の卒後2年目の研修医及び主に4月のウェルカムパーティに参加が叶わなかった新研修医向けに開催。医師会案内を行う他、ワールドカフェ形式で先輩医師が若手医師のキャリアの不安等への質問に応じている。</p> <p>③毎年1回、若手向けの「勤務医部会研修会」をU40 OSAKA 勤務医部会にて企画 ⇒「ChatGPT」・「資産運用」がテーマとなり、多数の参加がなされた。</p> <p>④U40 OSAKA 勤務医部会の定例開催と加入促進パンフレット等の作成 ⇒隔月1回U40 OSAKA 勤務医部会を開催するほか、入会勧奨用の資料を作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府医師会入会案内「日本の医療を守ろう！」 https://osaka.med.or.jp/img/doctor/medicalbooklet.pdf ・勤務医部会活動案内「我ら、さきがけ」 https://osaka.med.or.jp/img/doctor/sakigake.pdf ・大阪府医師会紹介 MOVIE https://www.youtube.com/watch?v=CjfogVp90xQ
28	兵庫県	<p><女性医師></p> <p>男女共同参画推進委員会では年2回「ニュースレター」を発行して、委員会の活動内容を中心に広報するとともに、臨床研修病院を訪問して開催している病院勤務医・研修医との懇談会（個々の病院をまわり説明している）では医師会活動の紹介を行っている。</p> <p><勤務医></p> <p>勤務医医学会・研究助成の実施、勤務医組織化の強化（勤務医受入れ医療機関でのオリエンテーションやアプローチ医師への入会促進）、勤務医向け研修会の開催（研修医セミナー）並びに研修医ウェルカムパーティーへの協力、勤務環境改善（働き方改革）への対応を行っている。</p>
29	奈良県	<p>新臨床研修医に向けたオリエンテーションで医師会の活動状況等を紹介し、研修医等の加入促進に努めている。また、日本医師会の医賠償保険や医師年金など、医師会が運営している医師のための各種制度についてパンフレットやチラシを研修会などで配布し、制度の利点や特色を幅広く周知することで勤務医の医師会に対する興味・関心を高め、勤務医の加入</p>

		促進を図っている。
30	和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用研修医に対する講演時における医師会活動の紹介並びに入会のしおり等の配布 ・研修会等参加者に対する加入促進 ・地域における女性医師支援懇談会の開催 ・研修医レターの発行 ・郡市医師会との移動懇談会時における加入促進依頼
31	鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務医、研修医向け医師会入会パンフレット作成（令和5年度） ・初期臨床研修医を対象に6月に「ようこそ、鳥取県へ～初期臨床研修医歓迎の夕べ～」を開催し、医師会活動の説明を行う機会を設けた。 ・医師免許取得後5年は、県医師会及び地区医師会の会費を免除。 ・県医師会ホームページに女性医師の相談窓口を開設しており、会員・非会員問わず利用できる。
32	島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、しまね地域医療支援センターとの共催により、県内臨床研修指定病院の院長、臨床研修プログラム責任者、臨床研修医（1年次）の先生方を対象とした合同研修会を開催している。その中で医師会活動の紹介や入会のメリット等を説明することにより、医師会に対する理解を深めていただくとともに、懇親会を開き本会役員との交流を図っている。 ・本会の事業内容等を記載した「勤務医の皆様へ～医師会入会のしおり～」を作成し、合同研修会出席者へ配布するとともに、郡市医師会・県内各病院へ配布し、新規入会の勧めや照会に際してご活用いただいている。 ・今年度より冬に臨床研修医（1年次）の2回目の研修会も企画しており、研修医が互いに情報共有する場を提供するとともに、日医医賠償保険などについて情報提供を行う予定としている。 ・島根県医師会男女共同参画フォーラムにおいて、出席者に日本医師会ドクターサポートセンターのノベルティグッズ・チラシを配付し、医師会を知っていただく機会としている。
33	岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年4月に研修医の歓迎会「WELCOME 研修医の会」を開催し、医師会入会を勧奨している。 ・勤務医部会委員会を開催し、岡山県の現状を説明。医師会組織強化のため協力を依頼する。また、勤務医部会委員会に各病院の医師会未入会の指導医・研修医を同伴いただき、意見交換を行う。 ・役員自らが臨床研修指定病院に出向き、病院長や研修担当医師、事務担当者に医師会会員情報システム（MAMIS）、日本医師会医師賠償責任保険、医師年金、岡山県医師会の様々な制度の説明を行った。
34	広島県	<p>入会促進リーフレット（広島県医師会入会促進パンフレット）を作成し、必要に応じて改訂を行い配布している。</p>
35	山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・県医師会及び郡市医師会の若手勤務医会費の引き下げ（平成23年度より

		<p>医師免許取得後 10 年未満の勤務医を対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 郡市医師会勤務医理事との懇談会（勤務医である郡市医師会理事との意見交換会） ・ 郡市医師会に勤務医部会の設置を呼びかけ、勤務医の医師会活動への参画を促進するため、部会設立に対する支援金を助成。また、本年度からは部会活動に対する支援金も助成。 ・ 医学部 4 年生を対象に県医師会長が講義（平成 28 年から実施） ・ 女性医師に関しては、本県の医療を担う人材を確保し、医師会への加入を一層促進するため、医学生、研修医等を主な対象として、若者のキャリア形成に役立つ企画イベントを開催
36	徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修医の集い ・ 臨床研修指導医養成講習会 ・ 医学生・研修医等をサポートするための会 ・ 地域における女性医師支援懇談会 ・ 院内新人研修医オリエンテーション等での医師会説明等
37	香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 香川大学医学部での研修医オリエンテーションの際に、入会届・本会広報誌等の回覧、保険の説明等、医師会入会の特典の説明を行っていただいている。 ・ 臨床研修医との意見交換会の際に、日本医師会パンフレット等を配布している。
38	愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月に研修医オリエンテーション・歓迎懇親会、同日に勤務医部会委員会を開催している。また、11 月には研修医ワークショップ（ロールプレイを含む医療メディエーション研修）、12 月～1 月には女性医師部会・勤務医病院部合同講演会を開催している。 ・ 勤務医の健康支援と労働環境改善とともに医療安全（医療メディエーション）を学ぶことは、患者安全につながると考え、継続している。
39	高知県	<ol style="list-style-type: none"> ①初期臨床研修医共通オリエンテーションにて、医師会の役割や活動内容の説明を実施。 ②県医師会主催にて、新研修医・高知県医師会交流会を開催。 ③基幹病院の勤務医を対象に、医師会活動の啓発及び入会促進を目的とした医師会活動説明会・意見交換会を開催。地域の基幹病院の医局会や研修会において、担当理事が出向き、説明と意見交換を実施。 ④会員問題委員会（勤務医委員会）に勤務医（研修医・女性医師）を登用。また、当会主催の第 78 回医学会にて、役員より医師会の活動内容や支援の取り組みについて説明を行い、参加者に対して入会促進を図った。
40	福岡県	<ol style="list-style-type: none"> ①医学部卒後 5 年間の会費減免期間の延長及び 30 歳以下の勤務医会費の減額

令和 5 年度より、臨床研修医を対象としていた会費減免（無料）期間を医学部卒後 5 年目までに延長し、県下の各医師会へも協力を依頼している。また、平成 30 年度より、勤務医会員（B）の会費について、30 歳以下の会員の会費を 26,000 円→8,000 円に減額している。

②医師会入会促進のリーフレット作成

研修医・若手医師の医師会入会を促進するため、医師会活動の意義と医師のライフステージに応じた医師会の支援を「診療」と「生活」の両面での具体的な支援内容を記載したリーフレットを毎年改訂し、初期臨床研修医や専攻医が所属する県内の研修病院を中心に全病院に配布した。さらに、医師信用組合などの関係団体とも連携し、医師会の紹介を行う機会を多く設けている。

（福岡県医師会 HP「入会案内リーフレット」）

<https://www.fukuoka.med.or.jp/doctors/entry/7507.html>

③新規臨床研修医オリエンテーション（県内 4 大学にて実施）

例年、県内の 4 大学で実施している初期臨床研修医オリエンテーションで「医の倫理・医療政策と医師会」に関する講義後、大学の協力を得て、入会案内や入会届を配布しその場で入会を受け付けている。また、研修医とあわせて、専攻医にも出席いただき、臨床研修終了後の退会を防ぐなど一定の効果を得ている。

④学生交流会（県内 4 大学にて実施）

県内 4 大学医学部生を対象に、今後のキャリア形成の参考となることを目的に、男女共同参画、ワークライフバランス、キャリアプラン、医師会活動等について、大学の先輩医師や本会役員が講演し、医学部在学中から医師会の存在や活動を知る機会を設けている。

⑤福岡県医学会の開催・福岡県医学会賞の授与

県内 4 大学医学部長が輪番で学会長を務め、大学病院医師を含む勤務医、開業医、研修医が一堂に会して研究発表を行い、地域医療及び日常診療に関する優れた業績に対し「福岡県医学会賞」として特別賞 1 編（副賞 50 万円）、奨励賞 5 編（副賞 25 万円）の論文表彰及び「一般演題（ポスターセッション）発表」では優秀賞 5 題（副賞 10 万円）、研修医部門優秀賞数題（副賞 5 万円）を表彰している。「医学部生部門」では、表彰は行わないが、医学部在学中から医師会活動に参画する機会を設けている。

⑥勤務医部会研修会・交流会

医療政策や医師会活動を考える機会を提供するとともに、若手医師の意見を集約し、今後の支援活動に反映させることを目的として、勤務医部会研修会や交流会を開催し、若手医師、研修医、医学生等に参加を依頼している。研修会では「勤務医と医師会のつながり～コロナ禍での地域医療を経験して～」や「私たちが思う働きたい職場～働き方改革を見据

	<p>えた勤務医の処遇改善に向けて～」等をテーマに開催し、交流会では「勤務医の医師会活動への参画～勤務医が望む医師会活動とは？～」や「働き方改革は君たちにとってどうなの？～若手医師の本音～」等をテーマに、ファシリテーター1名、若手医師、研修医、医学生各2名等からなるグループで、活発な議論が行われている。</p>
41	佐賀県 <ul style="list-style-type: none"> 勤務医加入促進のパンフレットを、地区医師会及び公立医療機関へ送り、未加入の先生方にお送りしている。
42	長崎県 <ul style="list-style-type: none"> 加入促進パンフレットを作成し、長崎大学医学部卒業生、長崎大学医学部及び長崎医療センター研修医のオリエンテーションの際に配布している。 オリエンテーションでは、県医師会長と担当役員が出向き、本会の紹介や入会した際のメリット等について説明を行っている。 長崎大学病院が長崎県からの委託事業として行っている長崎医師保育サポートシステムに協働推進団体として活動費の援助等を行い、女性医師の加入を促進している。
43	熊本県 <ol style="list-style-type: none"> 勤務医部会の中に、各地域での活動を活性化するよう郡市医師会からの推薦による世話人を令和2年度より設置した。 毎年4月に熊本大学病院の研修医オリエンテーションの中で、医師賠償責任保険、医師国保、医師信用組合など医師会に入るメリットを紹介するなどして、医師会入会促進を行っている。 男女共同参画委員会では、『医学生、研修医等をサポートするための会』を開催し、学生のうちから医師会や医師会の先生と一緒に学ぶ場を提供している。また、地域における女性医師懇談会を開催し、会員外の女性医師の先生にもご案内し懇談のテーマに対して話し合いながら、医師会に興味をもっていただけるように働きかけを行っている。
44	大分県 <ul style="list-style-type: none"> 大分大学医学部附属病院と協力し、大分県地域医療の復帰支援・働き方改革を目的とした、大分県医師キャリアサポートブックを作成。
45	宮崎県 <ul style="list-style-type: none"> 新研修医が集まる説明会において、医師会事業の案内と医賠償保険に関する説明を行った上で、入会に必要な情報をWeb入力する時間も設け、その場で手続きしていただけるようにした。 会報（日州医事）に、会員のメリットに関する情報を掲載した。 女性医師復職支援事業やみやざきドクターバンク事業（宮崎県医師協同組合）において、県内医療機関への復職や就職を希望する県内外の医師へ復職や就職支援を行い、県内医療機関への就職希望者に対し、医師会の事業案内と医賠償保険に関する説明を行うなど加入促進を図った。
46	鹿児島県 <ul style="list-style-type: none"> 毎年4月に県医師会長が鹿児島大学病院並びに鹿児島市立病院の新入局ガイダンスに出向き、県医師会について（医師会のメリット、医師信用組合、医師協同組合の事業説明・特典の紹介など）説明を行っている。 同じく4月に開催している研修医歓迎レセプションでも医師会のPRを

	<p>行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師会加入率の低い医療機関に出向き、医師会加入のメリット等について説明し、加入促進を行っている。さらに、鹿児島大学医学部卒業証書授与式でお祝いのメッセージとともに日本医師会女性医師支援センターのグッズを配布し、女性医師支援体制や医師会について PR している。 ・ 12 月 1 日の日本医師会会員数調査に向けた、医師会加入促進の短期的な取り組みとして、今年度は役員に医療機関や大学医局（診療科）毎の担当を割り当て、未加入者のリストアップを行い、各役員から直接、医師会への入会を依頼した。
47 沖縄県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし